

発表内容

- 1 本校沿革
- 2 本校SSH概要(第5期)と課題研究
- 3 統計的課題研究の取組
- 4 データサイエンス(DS)の取組
- 5 外部機関との連携
- 6 産学連携 (TrueData×松山南高校)
- 7 普及活動



本校沿革

1891年

私立愛媛県高等女学校として開校

1896年

1898年

1901年

1948年

1949年

1968年

2002年

2011年

2020年

私立愛媛実業女学校私立愛媛高等女学校

県立松山高等女学校

県立第二高等学校

県立松山南高等学校

理数科設置(県内3校)

SSH校に指定

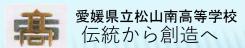
創立120周年

SSH第5期指定

現在創立129年







2 第5期研究開発概要

(1) 研究開発課題名

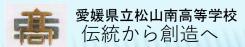
新しい価値を創生する国際競争力を持った 科学技術人材育成 -Society5.0の実現に向けたSTEAM教育-

> 【先導的改革型】 (全国で2校だけ指定)

(2) 期間

令和2年度~令和4年度(3年間指定)





2 第5期研究開発概要

(3) 目的《育成したい資質・能力》

新時代対応型 課題発見·解決能力

> 産学連携型課題研究 (データサイエンス)

> > 学校設定科目 データサイエ ンス(DS)

Generalist

データ利活用人材の育成

先進的 課題発見·解決能力

大学接続型課題研究 (高いレベルでの課題研究)

OMG P Oスーパーサイ エンス

など

Specialist

ハイレベル科学技術人材の育成

地域貢献·社会還元 能力

課題研究指導のための ネットワーク構築

- えひめ課題研究支援ネットワーク
- 課題研究スキルアップ 研修
- 高校生アドバンストサイエンスチャレンジ

など

Leadership

地域の理数教育レベルアップ



①第5期全校体制での課題研究 常 伝統から創造へ 普通科1~3年「データサイエンス(DS)」

- 前半はテキストで課題研究の基礎に ついての学習とWEbツールの使い方。
- 後半はプレ課題研究を実施。

2年生

● テーマ別に課題研究を実施。

3年牛

● 課題研究のまとめ。 (論文A4用紙10枚作成)

各学年週1単位で実施。

1年生

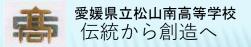
- 2単位で実施
- 放課後にサイエンスクラブ
- 「理数系教員育成支援プログラム」

2年4

- 3単位で実施
- ●課題研究の充実・発展

3年生

- 1単位で実施
- 課題研究のまとめ



普通科(渡部担当班)

中央商店街の活性化

「高校生と高齢者の利用で中央商店街を活性化しよう!!」

統計データ分析コンペティション 2020 特別賞(統計活用)

生徒の感想

- データから商店街の課題を見つけて終わりなのではなく、 改善策を考え、企業の方のお話を聞くことでより自分の考 えを深めることができました。
- この研究を通して、多くのデータに触れ、データ分析について興味を持つことができました。また、実際に企業の方の声を聞いたり、研究論文にまとめたりと貴重な経験ができました。

普通科(福澤担当班)統計(バスケット)班

第9回スポーツデータ解析コンペティション 中等教育部門 最優秀賞





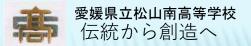
普通科(渡部担当班)

南海トラフに備えて (訪日外交人観光客の避難について)

- WiDS HIROSHIMA アイデアソン2020 優勝



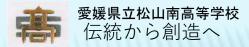




普通科(渡部担当班)

・WiDS HIROSHIMA アイデアソン2020 ブラッシュアップセミナー





普通科(福澤担当班・渡部担当班)

バスケットボールにおけるシューターの

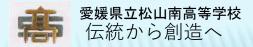
つくる波の価値を探る!

中央商店街の活性化

竹輪と蒲鉾



統計データ利活用の課題研究の 全国発表・交流会(FESTAT2020) 口頭発表



普通科(渡部担当班)

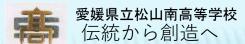
砥部焼の活性化

「砥部焼の認知度アップ大作戦 ~砥部焼作りに来てみんけん~」

▶ 第60回愛媛県高等学校教育研究大会

数学部会研究発表会 (主催 愛媛県教育委員会・ 愛媛県高等学校教育研究会)





4 データサイエンス (DS)

Webツール (e-Stat, RESAS) などを使った

データを利活用する

課題研究







身に付けたい力

1 データを分析する力

X

2 地域に対する問題意識

X

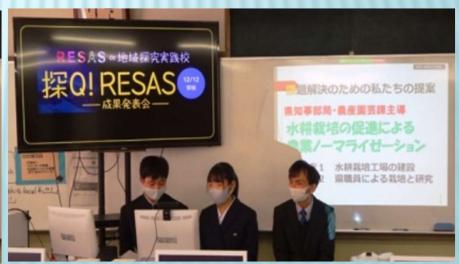
3 自分の意見を発信する力

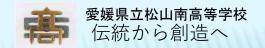
「RESAS de 地域探究 実践校」

探Q!RESAS (成果発表会)





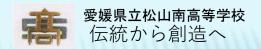




4 外部機関との連携

(1) 大学教員との連携 滋賀大学データサイエンス学部 姫野哲人先生

(2) いよぎん地域経済研究センター(IRC)



大学教員との連携

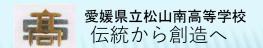
滋賀大学データサイエンス学部 姫野先生



普通科と理数科の統計的課題研究に対しての助言

1年生対象講演会「データサイエンス入門」





大学教員との連携

滋賀大学データサイエンス学部 4年生 mitei 代表 井本望夢さん(本校卒業生)

教養アップ講座で講演





TOP サービス一覧 会社情報 ニュース お問い合わせ

滋賀大学発ベンチャーって?

滋賀大学の教育研究に基づく新たな技術やビジネス手法をもとにして設立 した企業を、「滋賀大学発ベンチャー」として認定する制度です。

ミテイは日本初のデータサイエンス学部1期生が立ち上げたITベンチャーです。

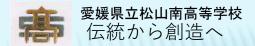
滋賀大学は2017年に日本で初めてデータサイエンス学部 (DS学 部) を創設し、データサイエンティストの育成を行ってきまし た。

ミテイの代表である井本は学部の1期生として2020年6月に 社を立ち上げました。



(写真左から、竹村影道DS学部長、位田隆一滋賀大学学長、井本望夢、河本薫教授、上田雄三郎特任准教

(mitei HP より) 19



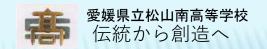
いよぎん地域経済研究センターとの連携

いよぎん地域経済研究センター(IRC) 中川さんや各専門領域の方々

e-Statや自治体のオープンデータなど、 データの探し方・見方や地元データの提供

課題研究に対して のアドバイス





5 産学連携

① True Data × 松山南高校



- (1) ワークショップの実施
- (2) 課題研究発表会の実施
- (3) 今後の連携



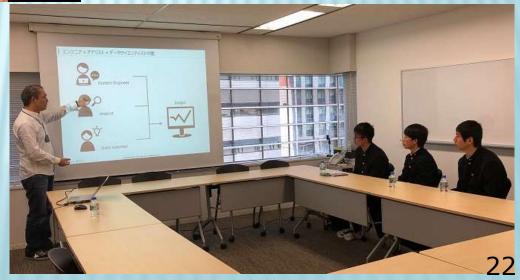
丰

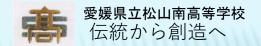
True Data × 松山南高校



地方創生☆政策アイデア コンテスト2018で True Data賞を受賞

True Data本社訪問





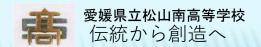
ワークショップの実施

「意外?納得?スーパーやドラッグストア の買い物から世の中を見てみよう」





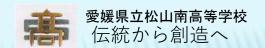
「ウレコン」を使って、購買データから考察



ワークショップの実施

- 無料でアカウントを作成することでき、各商品の購買データの様々なグラフを確認できる。
- データのダウンロードはできない。





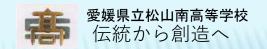
ワークショップの実施

「Dolphin Eye」を使って課題研究

「Dolphin Eye」の 使い方や購買データ の見方などを教わる。



True Data本社と松山南高校を Skypeで繋いで実施



課題研究発表会の実施

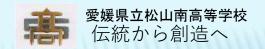
「Dolphin Eye」を使って課題研究

テーマ

- 売れるアイスには公式 があるのではないか
- 牛乳から日本を知る
- 「ちくわ」と「かまぼ こ」の売上の差
- · 豆乳 V S 牛乳!?
- 頭痛薬



True Dataの方々と松山南高校 をZOOMで繋いで実施 26



今後の連携



×地元企業

×松山南高校



地元企業でのフィールドワークも取り入れた 産学連携教育プログラム

「企業と学生が取り組むデータマーケティング」 を計画

7 普及活動

· 2020年度 日本統計学会 学会賞 第16回 日本統計学会統計教育賞

第 16 回 日本統計学会統計教育賞

渡部 靖司 氏

▶ 略歴

2002 年 広島大学理学部数学科卒業,2002 年 愛媛県立野村高等学校教諭,2005 年 愛媛県立 松山中央高等学校教諭,2011 年 愛媛県立上浮穴高等学校教諭,2015 年 愛媛県立松山南高等 学校教諭.

💣 受賞理由

渡部靖司氏は、高等学校数学科における統計教育の方法論的研究・授業実践の分野で活発な活動を行い、顕著な実績を挙げてきた。特に、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けた高等学校普通科課題研究において、生徒に主体的な科学的探究活動を指導し、その実践内容について「統計教育の方法論ワークショップ」等において研究発表を行うなど、統計的問題解決の授業の改善に取り組むとともに、授業事例の普及に努めている。本年2月の同ワークショップにおいても授業実践成果の研究発表を行い、優秀実践事例として認められた。また、生徒の統計的課題研究の指導に意欲的に取り組み、指導を受けた生徒たちが2018年統計データ分析コンペティション日本統計協会賞等を受賞するなど、指導力の高さも高い評価に値する。現在、渡部氏は、勤務校のSSH推進課次長として普通科課題研究「データサイエンス」」のカリキュラム開発や産学連携プロジェクトに尽力している。このような渡部靖司氏の優れた実績は、統計教育の発展に顕著に貢献しており、高く評価されるものであることから、日本統計学会統計教育賞にふさわしいものである。

(日本統計学会 HP より)





7 普及活動

- 2020年度

シンフォニカ統計GIS活動奨励賞

渡部 靖司 (愛媛県立松山南高等学校 教諭)

『高等学校「総合的な探究の時間」でのjSTAT MAP地図で見る統計GISを活用した 統計的課題研究の指導と授業実践モデルの普及活動』

渡部氏は高等学校における統計GISを用いた統計教育の方法論的研究・授業実践の分野で先進的で活発な活動を行い、顕著な実績を挙げています。

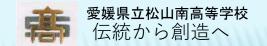
特に、スーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けた高等学校普通科課題研究において、生徒に主体的な統計的探究活動を指導し、その実践授業は、新学習指導要領に完全に移行するときの全国の高等学校のモデル授業になることが評価され、文部科学省から来年度に公開される情報 I 授業実践事例集への掲載が予定されています。具体的には、生徒が小学校、中学校、高校の数学 I 「データの分析」で学んだ記述統計の知識やe-StatのjSTAT MAP (地図で見る統計) などを活用し、PPDACサイクルに従い、統計データを地図上に表すことによって、地域課題を解決する政策を提案する統計的な課題研究になっており、生徒の主体的探究態度の養成と並行し統計リテラシーの育成指導に効果を挙げています。

さらに、渡部氏が実践担当した生徒たちの統計的課題研究は、統計データ分析コンペティション2019「優秀賞」、同2020「特別賞(統計活用)」、第9回データビジネス創造コンテスト「優秀賞」、第3回和歌山県データ利活用コンペティション「データ利活用賞」など数多くの受賞実績があります。また、これらの実践内容については、日本統計学会「統計教育の方法論ワークショップ」等において研究発表を行い、広く高校教育に対して、統計GISの授業教材化の成功事例を提示し、普及啓発の効果を挙げています。

加えて、高等学校では2022年度から地理総合が必修化し、GISが柱になることから、渡部氏の一連の 授業実践は同分野を牽引することが期待されます。以上の理由から本賞を授与することといたしました。

SSH Super Science Highschool

(統計情報研究開発センター HP より)



7 普及活動

- 2020年度初等中等教育におけるGIS を活用した授業に係る優良事例表彰 国土交通大臣賞

第69回(2020年) 読売教育賞 算数 - 数学教育部門 最優秀賞



